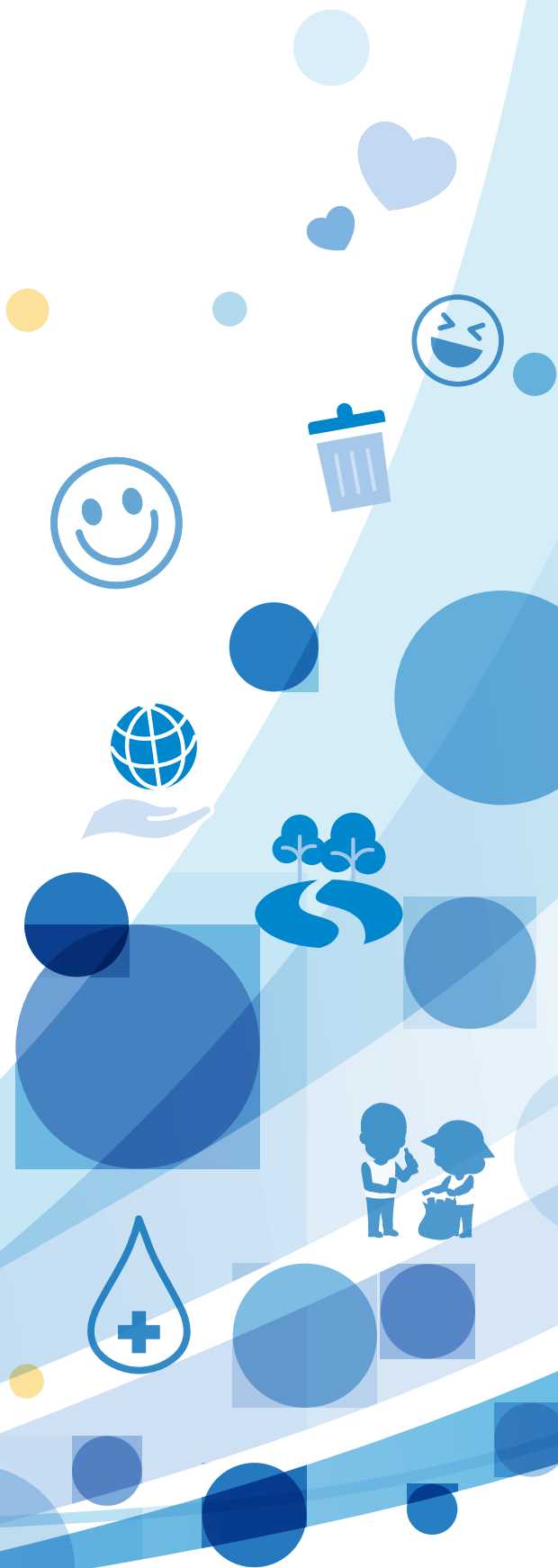




ESG REPORT 2022

明るく 楽しく 面白く



株式会社 ニラク・ジーシー・ホールディングス
NIRAKU GC HOLDINGS, INC.*

(Incorporated in Japan with limited liability 於日本註冊成立的有限公司)

Stock Code 股份代號 : 1245

ESG REPORT 2022

はじめに

当社は、日本の福島県を中心に70年以上、経営理念をもとにパチンコホール運営を主とした事業に取り組んでまいりました。

当社グループが、永続的に存在するとともに、社会との共存、発展を目指す上では、当社が創業以来培ってきたこの70年以上の経験を活かし、地域貢献をはじめESG(環境・社会・ガバナンス)に着目した経営を行うことが必要不可欠であると考えています。

当社は、長期にわたり企業価値を高めていくことを目的に、ESGレポート(以下「当レポート」)を作成致しました。当レポートがステークホルダーの皆様へ、当社グループの取り組みをご理解いただく機会となれば幸いです。

本レポートについて

本ESGレポートは、香港証券取引所におけるメインボード上場規則の附属書類27(ESGレポートガイド)に準拠し、株式会社ニラク・ジー・シー・ホールディングス(以下、「NGCH」または「当社」)の環境・社会・ガバナンスに関する情報を開示しています。

※ガバナンスに関する情報は、別紙「Annual Report 2022」コーポレート・ガバナンス報告書を参照

当グループの活動は主に当社グループの子会社である株式会社ニラク(以下「ニラク」)の主事業であるパチンコホール経営であることから、当レポートは、ニラクにおけるESGへの取り組みを中心とした内容となっています。

当レポートは、特に記載ある場合を除き、アニュアルレポート2022と同様に2021年4月1日から2022年3月31日までを報告期間としています。

当レポートは、リスク管理担当執行役(CRMO)により編集され、取締役会にて承認されています。

CONTENTS



環境

環境……………07



社会

お客様……………11

従業員……………14

地域社会……………20



ガバナンス

コンプライアンス……………26

リスクマネジメント……………27

ESGへの取組方針と ステークスホルダーエンゲージメント

取締役会は当社グループのESGに関連するリスクを評価、決定し、適切かつ効果的なESGに関するリスクマネジメントを行い、適所に内部統制システムを整備することを含む、ESGに関する戦略に対する責任を有しています。

当社グループは、関連するESG上の課題を識別し、それらの課題が当社グループの事業、およびステークホルダーの皆様に対して有する重要性を評価するために、日々の業務のレビューや内部のディスカッションを通じて、経営者および当社グループ内の異なる部門の従業員との間で検討を行いました。その結果、重要と考えられるESG上の課題に関して、当レポートにて詳細を記載しています。

また、当社グループは、CO₂排出量削減を経営におけるESG上の最重要課題とし、ニラクにおけるCO₂排出量を取締役に管理・監督することを2022年3月開催の取締役会にて決議いたしました。なお、当レポートの報告期間において、当社グループは、これらの重要な課題に関連する領域において、当社グループに重要な影響を与える法規則の不遵守または違反を認識しておりません。

当社グループは、ステークホルダーの皆様のご関心に、これまで以上に対応するために、皆様からのフィードバックを募集しています。フィードバックの詳細については、巻末の「フィードバックのお願い」をご参照ください。





Top Message



地域とともに、 100年企業として

当社グループは、その歴史において、「世の中を“明るく楽しく面白く”していくことで、人々の幸せな時間を創造する」を精神としてきました。

当社グループの事業の歴史は70年以上になります。70年以上にわたり、事業を継続できたのは、当社が地域との関りを大切にし、地域との共生を常に意識してきた事にあります。企業は、単独で事業を継続していくことができません。そうしたことから、これからは、企業だけの利益追求だけでなく、社会と共に発展していくことがこれまで以上に求められてきます。

当社グループは一昨年、持続的な事業を営むための基本的な考え方として、ESG経営宣言「私たちNGCHグループは『公益』を優先に考え、従業員、お客様、お取引先様、地域社会、そして地球全体といった全てがステークホルダーであると捉え、すべてと共に持続的な成長ができる経営を目指します」を決議しました。持続的成長へのものさしであるESGの考え方は、世界的に投資先を選定する指標になるなど、経営における重要度を増してきています。さらに持続可能な世界を目指して定められたSDGs(持続可能な開発目標)も企業経営に良い意味で影響を及ぼしつつあります。

このESG経営宣言には、3つの具体的に重視することを次のように定めています。

- ◎ 生み出した利益を、従業員、顧客、地域社会、環境、地球全体、仕入れ先、株主に適正に配分する。
- ◎ 持続性をもって社会に貢献できるような経営を、短期的な視点ではなく、中長期的な視点で行う。
- ◎ 企業の持続的な発展のために、常に新しい分野に果敢に取り組み、起業家精神をもって経営を行う。

この3つの方針は、当社グループの次の時代に向けた新たな企業文化形成においても重要なものとなってくるでしょう。

当社グループは、今後も100年以上続く企業を目指し、常に社会の変化に対応するための挑戦を続けていきます。そして持続的な事業を営むための基本的な考え方であるESG経営宣言の下、事業の展開、さらには事業の在り方を考え、全てのステークホルダーの期待に応えることができる、社会にとってなくてはならない企業になることを目指していきます。

株式会社ニラク・ジー・シー・ホールディングス
取締役会議長 兼 代表執行役

谷口 久徳

経営理念

Management Philosophy

明るく 楽しく 面白く

Happy Time Creation

私たちは、世の中を「明るく 楽しく 面白く」していくことで、
人々の幸せな時間を創造していきます。

企業指針

Corporate guidelines

お客様

ニラクをご利用いただくすべての人々のために

- ・心の通じ合う人といふときのような親しみのある空間を提供します。
- ・毎日、イキイキ、元気に暮らしていただくための「ほっとする快感」を提供します。
- ・あたりまえのことを徹底してやり続け信頼関係の礎とします。

従業員

ニラクで働くすべての人々のために

- ・無限の可能性を持つ個人の成長が、企業の成長に繋がると考え、成長の機会を約束します。
- ・共に語り合い、互いにやる気を高めあえる風土をつくります。
- ・家族としての強い絆で結ばれ、未来に向かい「挑戦する集団」であり続けます。
- ・健康的で安全・安心な職場環境を維持します。

地域社会

コミュニティやお取引先様のために

- ・優れた倫理観を持った良き企業市民として、企業活動を通じて地域社会の発展に寄与していきます。
- ・地球に感謝し、企業活動で発生する環境負荷を減少させるとともに、個人の環境保全活動を可能な限り支援していきます。
- ・志を同じくする全てのお取引先様を尊重し、対等で適切な関係を築いていきます。



ESG 経営宣言

ESG Management Policy

私たちNGCHグループは「公益」を優先に考え、従業員、お客様、お取引先様、地域社会、そして地球全体といった全てがステークホルダーであると捉え、すべてと共に持続的な成長ができる経営を目指します。

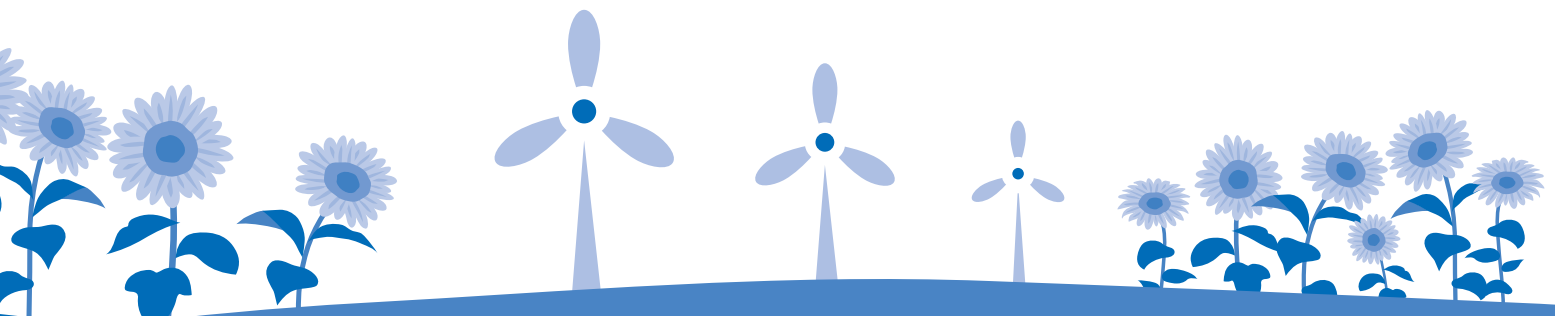
- ・生み出した利益を、従業員、顧客、地域社会、環境、地球全体、仕入れ先、株主に適正に分配する。
- ・持続性をもって社会に貢献できるような経営を、短期的な視点ではなく、中長期的な視点で行う。
- ・企業の持続的な発展のために、常に新しい分野に果敢に取り組み、企業家精神をもって経営を行う。

この宣言は持続的な事業を営むための基本的な考え方であり、ESG・SDGs (CSV2.0) の概念を中心にしたこれからのグループの経営方針です。

《 ESG のテーマ設定 》

	ESG7つの中核主題	ESG重要課題	国際社会のゴール
E	環境	気候変動	
		大気汚染の防止	
		省エネルギーの推進	
		生物多様性の保全	
		水の管理	
		廃棄物とリサイクル	
S	公正な事業慣行	公正な取引の遵守	
		サプライチェーン・マネジメント	
	人権 労働慣行	人権の尊重	
		人事・福利厚生	
		従業員の健康・安全	
		人財育成	
	消費者課題	製品の品質と安全性	
		健康価値(健康と栄養性)	
		製品のパッケージング情報公開	
		製品の求めやすさ	
		公正なマーケティングと広告	
	コミュニティへの参画 コミュニティへの発展	個人情報保護	
		コミュニティと人権課題	
		コミュニティと地域活動	
		コミュニティと産業育成	
コミュニティと環境・文化			
G	組織統治	コーポレート・ガバナンス	
		リスク・マネジメント	
		コンプライアンス	

参考: 持続可能性新時代におけるグローバル戦略—SDGs活用による新たな価値創造—世谷秀光





環境

Environment



環境

当社グループは、「地球に感謝し、企業活動で発生する環境負荷を減少させるとともに、個人の環境保全活動を可能な限り支援する」という企業指針に基づき、低炭素社会の実現をめざした資源の有効活用および環境汚染防止等への取り組みを推進しています。また、日本国内で適用される環境関連の法令および条例を遵守しており、大気汚染、温室効果ガスの排出、水質・土壌汚染、有害・非有害廃棄物の発生などに関し、法令違反はありません。





環境マネジメント

環境への影響として特に重要視する地球温暖化防止をめざし、積極的に環境保全活動を推進しています。環境関連の法規を遵守するとともに、全てのホール・建物内の空調や照明等における消費電力の削減、社内ペーパーレス化、廃棄物リサイクル、水資源の削減等、事業活動のあらゆる局面で発生する環境負荷の低減に努めるとともに継続的に改善を行い、地球環境に配慮した事業活動を行っています。

電力量と電力コスト削減

LED照明の導入

ニラクは、電力削減への取り組みの一環として、東日本大震災翌年の2012年にビジネスセンターの照明器具をLEDに切り替えました。また店舗では、お客様の遊技環境改善と電力コスト削減の両立を目的に、2012年から2017年までの6年間で全店舗内外照明をLED照明に切り替え、照明にかかる電力量を継続的に削減しています。

- ホール建物内の空調を26℃以下にするこまめな温度管理を実施。
- バックヤードの使用スペースと用途に応じた空調電源管理を実施。



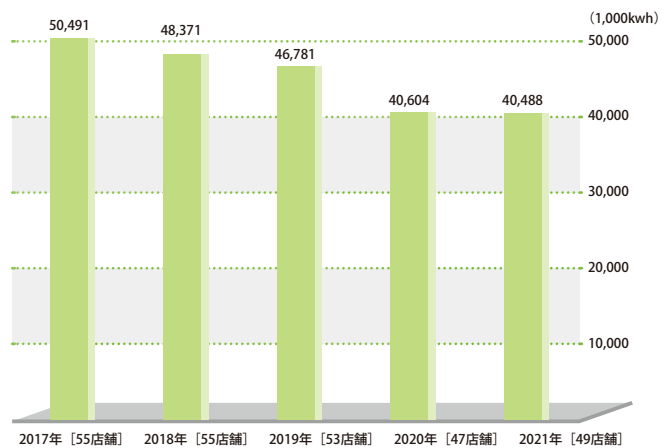
空調電力量の削減

店舗電力量の約50%は空調設備が占めており、空調の電力量を抑えることが電力量削減に大きな効果を発揮します。そのため、既存空調設備の耐用年数と刷新した場合の投資コスト、及びその節電効果とを常に比較しながら電力量の削減に取り組んでいます。

- ホール内照明の一部消灯、自動販売機照明の消灯を実施。
- バックヤードの一部消灯在室時以外の消灯を実施。
- 駐車場、駐輪場の照明の一部消灯ネオンの消灯を実施。
- 使用機器・設備の必要以外の電源オフ管理などを実施。



電力使用量推移

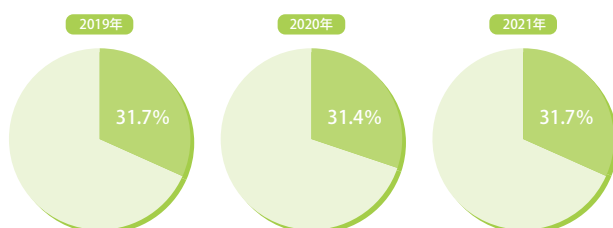


太陽光発電の活用

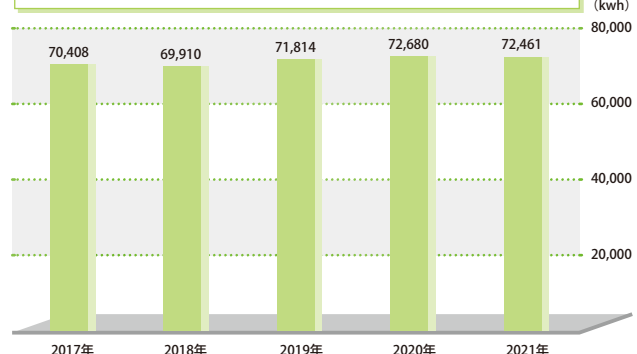
2012年6月にビジネスセンターにおいて、CO₂を排出しない太陽光発電の運転を開始しました。稼働開始時から、ビジネスセンターで使用する電力の約30%を太陽光発電でカバーしています。また2021年4月より、店舗屋上への太陽光発電設備の設置を推し進め、2022年3月末時点で稼働49店舗中、16店舗への設置を完了しました。今後も店舗で使用する電力の脱炭素化に取り組み、店舗で使用する電力の脱炭素化を推し進め、将来の炭素税負担によるコスト増回避を図るとともに、環境への配慮を通じて地域に貢献してまいります。なお、2022年3月期における原単位(床面積)あたりのCO₂排出量は0.297 t-CO₂/㎡です。



太陽光発電が全電力使用量に占める割合



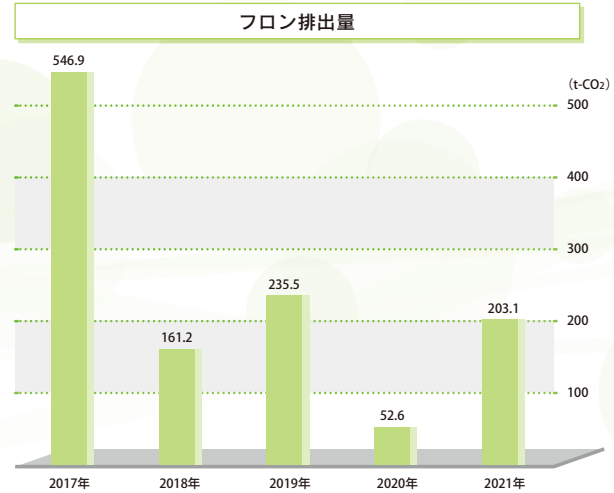
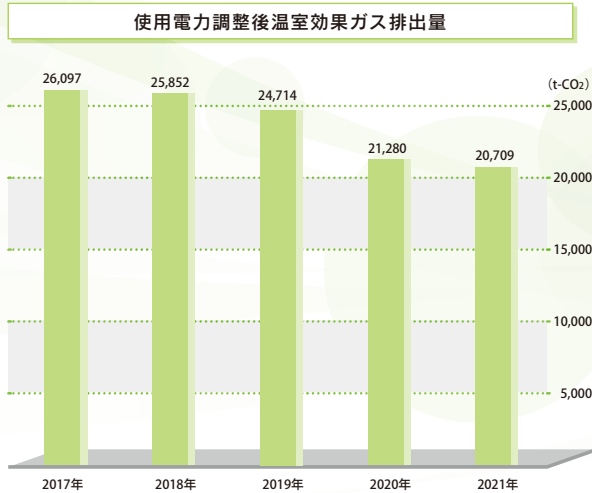
ビジネスセンター太陽光発電量推移



環境保護への取り組み

温室効果ガスなど排出物削減への取り組み

ニラクは、省エネ法による特定事業者指定されています。燃料資源の有効活用のため、エネルギー使用合理化を推進するとともに、フロンガス排出抑制法に基づく空調設備管理を行い、温室効果ガス削減に取り組んでいます。



省資源への取り組み・エコカーの導入

環境資源に対する負荷を抑制するため、社内会議での配布資料のペーパーレス化を進めています。特に会議頻度の高い営業部門においては、クラウドソーシングを通じた配布資料のデジタル化を徹底しています。営業部会議等では、遠隔地エリアについてweb会議を導入。移動手段を利用することで発生する温室効果ガス排出を低減させるとともに、移動コストを抑制しています。さらに、当社グループ全体で回収する廃棄文書を溶解処理し、再生紙へとリサイクルしています。また、節水トイレの設置やエコカーの導入など環境保護への取り組みを積極的に推進しています。



ペーパーレス化



WEB会議

再生紙への
リサイクル節水トイレの
設置

エコカーの導入



WEB会議



エコカーの導入



社 会

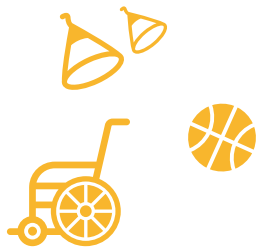
Society



お客様 Customer

従業員 Employees

地域社会 Local Communities



企業指針

Corporate guidelines

お客様 Customer

ニラクをご利用いただくすべての人々のために

- ・心の通じ合う人といるときのような親しみのある空間を提供します。
- ・毎日、イキイキ、元気に暮らしていただくための「ほっとする快感」を提供します。
- ・あたりまえのことを徹底してやり続け信頼関係の礎とします。



安心・安全に遊技していただくために

当グループでは、「お客様起点」の行動指針のもと、お客様の視点に立った遊技環境の改善や接客サービス向上に取り組んでいます。地域の人々に頼いの場を提供し、パチンコ・パチスロを遊技しないお客様にも気軽に立ち寄っていただけるような親しみやすさをモットーに楽しく落ち着いた時間を過ごせる店づくりを目指しています。





依存(のめり込み)問題への取り組み

2016年12月のIR推進法可決を背景に、先進的な依存対策研究を推進し、さらなる対策強化を図るべく、具体的なアクションプランの構築に取り組んでいます。2018年5月には「責任あるゲーミング」の考え方のもと、基本方針を立て、宣言しました。今後、「2050年、パチンコ依存ゼロ」を目指した、依存(のめり込み)問題対策にも取り組んでいきたいと考えています。

基本方針〈責任ある遊技〉

ニラクは自らが提供する遊技によって起こる可能性のある過度なめり込みについて、責任をもってこれを予防し、最小化する努力をしています。

1 従業員の教育

2 予防の促進

3 セーフティネットの整備

4 地域社会との共生

1 従業員の教育

人財開発

正確な知識をもった従業員を育成することにより、お客様の過度なめり込みを予防し、早期発見につなげていきます。

のめり込みの問題に向き合うには、我々が正確な知識をもつことが必要です。正確な知識をもつことは、目の前のお客様の遊技状況やその背景についてより深く考えるきっかけをつくります。そして、お客様の気持ちに寄り添った行動をすることにつながっていきます。

2 予防の促進

環境への取り組み

適正な遊び方や健康的な行動習慣を促進し、お客様が無理なく安心して遊技を楽しむことができるように適切なサポートをしていきます。

従来の対策は、起こった問題に対して処置を施すものが中心でした。当社は、その前段階の予防に取り組むことにより、問題の発生を抑えるよう努めています。

3 セーフティネットの整備

社会の一員として

支援団体や回復施設と連携しながら、問題を抱えるお客様が早い段階で回復に向かえるように努めています。

店舗周辺の地域ごとにセーフティネット(安全網)を整備します。既存の相談窓口や支援団体とも協力、連携していきます。

4 地域社会との共生

地域・社会貢献活動

上記の活動を通して、地域の方々がいつも安全に、そして安心して遊ぶことができる店づくりをしています。

お店は地域社会に支えられながら存在しています。お客様や地域住民の皆さまに「ニラクは安心して遊べる」「ニラクがここにあってよかった」と思っていたるように、地域社会の発展に寄与していきます。



のめり込みに注意しましょう。

当店には「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」がいます。

Fun & Happiness
It's a promise

「私たちがアドバイザーが、楽しく安全に遊んでいただけるようサポートいたします。」
「依存が心配ない〜と不安のある方には、専門の相談機関などをご紹介いたします。」

パチンコ・パチスロ業界は、パチンコ・パチスロ依存症問題に真剣に取り組んでいます。

自己申告・家族申告プログラム

のめり込みを抑制したいお客様をサポートします!

自己申告プログラム

- 1日の遊技上限
- 1ヶ月の単遊回数
- 1日の遊技時間
- 入金制限

1日の遊技上限 1ヶ月の単遊回数 1日の遊技時間

申請書を提出 ▶▶▶ 利用上限に到達 ▶▶▶ 店舗スタッフからお知らせ

家族申告プログラム(入金制限)

パチンコ・パチスロ口遊技に申し込みたい方へ

パチンコは、適度に楽しむ遊びです。

ひとりで悩まず、お電話ください。

050-3541-6420

http://rsn-sakura.jp/

特定非営利活動法人リカバリーサポートネットワーク



具体的な取り組み

BCPに基づく災害時の避難訓練、避難誘導

パチンコホールには、連日多くのお客様が来店されます。ニラクは消防法を遵守し、全ての店舗において消防訓練(年2回)、消防設備等点検(年2回)、防火対象物点検(年1回)の実施とともに、従業員に対する防災教育を徹底し、お客様の安全確保に取り組んでいます。また東日本大震災による被災経験を踏まえ、2017年にBCP(事業継続計画)を策定し、緊急災害時を想定した定期的な訓練を開始しました。これらの取り組みにより、従業員一人一人の防災意識をさらに高め、災害への備えに万全を期しています。

● 主な防災訓練と点検

消防訓練2回/年 消防設備等点検2回/年 防火対象物点検1回/年



お子様の車内放置防止対策

ニラクでは、子どもの車内放置による事故を未然に防ぐ活動に尽力しています。駐車場を有する全店舗において、店舗スタッフ等が5~10月は1時間に1回、11月~4月は2時間に1回の間隔で駐車場を巡回し、車内にお子様放置されていないか、車輛の点検を行っています。2022年3月期においては、点検時に異常は認められず、事故の発生もありませんでした。



救急対応(AED配置)

2010年よりAED(自動体外式除細動器)の設置を開始し、2011年1月に全店舗・営業所での配備を完了しました。これに伴い、全従業員を対象に簡易型心肺蘇生シミュレーション・キットによる訓練を実施しています。現在は、配備機器の経年劣化を防ぎ、救急時対応をベストな状態に保つため、警備業者と委託契約した機器のメンテナンスおよびAED講習の一貫運用を行っています。

● 訓練の主な内容

付属のDVD(約40分)を見て命の大切さ、第一発見者の重要性、AEDの正しい使い方と意義を学びます。

CPRトレーニング・ボックスを開け、疑似AEDとAEDパッドを準備し、樹脂成型心臓を胸骨圧迫し適切なタイミングと圧迫する強さの練習を行います。



受動喫煙防止への取り組み

健康増進法の改正に伴い、2020年4月よりパチンコホールは原則禁煙となり、ニラクは全ての店舗において完全分煙としています。吸う人も吸わない人も「ほっと」できる憩いの空間を提供できるよう、遊技環境の改善・向上に取り組んでいます。



ピクトサインの設置

障がいの有無や性別の制限などを問わず、お客様が安心して利用できるように、店舗のトイレにピクトサイン「だれでもトイレ」を設置しました。



企業指針

Corporate guidelines

従業員 Employees

ニラクで働くすべての人々のために

- ・ 無限の可能性を持つ個人の成長が、企業の成長に繋がると考え、成長の機会を約束します。
- ・ 共に語り合い、互いにやる気を高めあえる風土をつくります。
- ・ 家族としての強い絆で結ばれ、未来に向かい「挑戦する集団」であり続けます。
- ・ 健康的で安全・安心な職場環境を維持します。



人財に関する考え方

当社はすべての働く人が有益であり「財産」になっていくと考え、投資を行うことによって価値が高まっていく「人的資本」と捉えています。このような考えに基づき、当社は常に教育投資を欠かさず、従業員一人一人の力を最大限に活かすことができる企業文化の醸成に努めています。当社は、このような人財の力を合わせることで、パチンコ業界を変革し、真の産業化および新事業領域への「創新」を成し遂げたいと考えています。また、個々の学びと成長の機会を全従業員に等しく積極的に提供しています。





人財育成を通じた個人の成長と組織活性化の風土づくり

当社は、無限の可能性を持つ個人の成長が、企業の成長に繋がると考えています。
全従業員に成長の機会を積極的に提供し、創新をおこすことができる人財の育成に努め、組織の活性化を図っています。

教育プログラムの枠組み

良き企業文化の醸成を推進するとともに、リーダーシップ開発を中心とした、未来を担う人財を発掘するための独自教育プログラムを通して、経営レベルのリーダー育成にも取り組んでいます。

なお、2022年3月期の社員の研修受講率および一人当たり平均受講時間は、それぞれ男性(10.5%、1.0時間)女性(3.2%、0.6時間)となっています。



研修体系

等級	I		II		III	IV	V	VI
役職	新入社員	クルー	アシスタントMgr.	ストアMgr.	エリアMgr.	部長	取締役	
		グループMgr./担当/スタッフ					執行役員	
職務	一般管理層		初級管理層		中級管理層	上級管理層	トップ マネジメント層	
共通教育	新入社員研修 コンプライアンス研修 ハラスメント研修							経営リーダー 外部講座
部門別 階層別教育	営業部門	基礎研修 (当社の歴史、パチンコ基礎、 風適法基礎)	営業実務研修 (計数管理基礎)	アシスタントMgr.研修 スストアMgr.研修 エリアMgr.研修				
				営業実務研修 (セールス/労務管理)	営業実務研修 (マーケティング/セールス/労務管理)			
	スタッフ	各専門領域セミナー(外部)						
	ビジネススキル(中級)研修			ビジネススキル(上級)研修				
OJT	上長・トレーナーによる現場教育							





多様な人材が活躍できる企業風土づくり

女性の活躍推進

全ての社員が、就労の機会を得るだけでなく、その能力を向上させキャリア形成することの支援を目的とし、働きやすい職場環境を提供することに取り組んでいます。これらの取組みにより、望ましいワーク・ライフ・バランスが実現でき、女性の活躍推進にもつながるよう努めています。



内定者一人ひとりへの支援

ワーク・ライフ・バランスについて、実際の体験をもつ女性先輩社員に引き合わせたり、制度や福利厚生について質疑応答しながら一緒にイメージを高められるようにしています。

情報交流

一般社団法人「日本遊技関連事業協会(日遊協)」が主催する「女性活躍推進フォーラム」や、その他の勉強会への参加を通じて、女性のスキル向上や働きやすい環境実現に取り組んでいます。



「えるぼしマーク」(三つ星) 取得
(女性活躍推進認定企業)

株式会社ニラクは、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況における優良企業として、2017年3月、厚生労働大臣より女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定段階3の認定を受けています。

厚生労働省 5つの認定基準

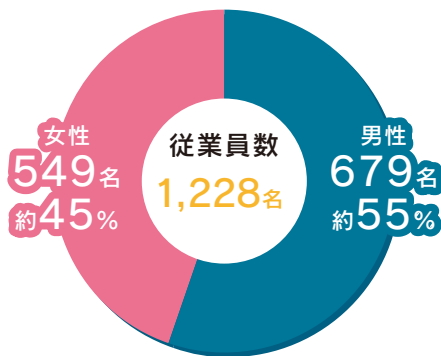
- ① 採用
- ② 継続就業
- ③ 労働時間等の働き方
- ④ 女性管理職比率
- ⑤ 多様なキャリアコース

役職者人数・女性比率

年	2019	2020	2021
合計	120	105	95
男性管理職者数	115	100	90
女性管理職者数	5	5	5
女性管理職比率	4.2%	4.8%	5.3%

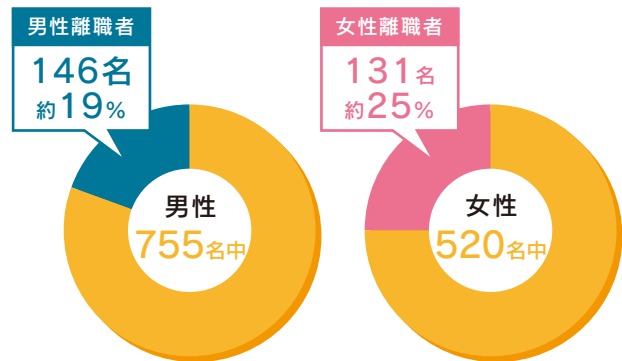
従業員数と男女比 [2022年3月31日現在]

※社員・パート・アルバイトの合計



離職率

※社員・パート・アルバイトの合計



在籍情報 [2022年3月31日現在]

年代	社員		パート・アルバイト	
	男性	女性	男性	女性
~29	110	31	59	129
30~39	154	34	49	119
40~49	212	16	25	131
50~59	39	13	18	67
60~	11	1	2	8

退職情報 [2022年3月31日現在]

年代	社員		パート・アルバイト	
	男性	女性	男性	女性
~29	33	2	35	70
30~39	31	2	13	25
40~49	16	5	7	15
50~59	2	3	1	4
60~	6	3	2	2

障がい者の雇用促進

当社グループは「地域社会の発展への寄与」という方針に基づき、障がい者の法定雇用率を達成してきました。2010年2月には特例子会社「株式会社ニラク・メリスト」を設立し、さらなる雇用促進をめざしています。「株式会社ニラク・メリスト」では、店舗や敷地内の清掃や除草、社宅や研修センターの清掃・管理など、障がいをお持ちの皆様がいきいきと働ける環境の整備や職域拡大に努めています。この活動が認められ、「平成28年度障がい者雇用優良事業所等全国表彰式」において厚生労働大臣表彰を受賞しています。



障がいのある従業員在籍人数

	期末時点人数	実雇用率	法定雇用率
2022年3月期	39名	4.2%	2.3%
2021年3月期	40名	3.4%	2.2%
2020年3月期	43名	3.4%	2.2%
2019年3月期	45名	3.3%	2.0%



2020年3月には、「CTP(Craftsman Trimming Plants)プロジェクト」チームを発足し、ニラク店舗の除草や剪定に取り組んでいます。





働きやすい職場環境づくり

当社は、健康的で安全・安心な職場環境づくりを目指しています。イキイキとした働きやすい職場環境を目指し、従業員のワークライフバランスと働き方の最適化に取り組んでいます。

ワークライフバランスに関する取り組み

当社は、個人の成長が企業の成長に繋がると考えています。従業員個人の成長を支える取り組みの一つとして、男女にかかわらず、仕事と結婚・出産・子育て・介護などの家庭におけるライフイベントの両立を目指した、各種制度や職場環境の整備を行っています。

働きやすさを支援する制度

両立支援制度

年次有給休暇(計画5連休)や有給休暇失効積立(ライフサポート手当)、育児・介護休暇などの取得促進に向けた環境整備を行っています。

イクボス宣言

福島県が取り組む「イクボス宣言」の活動に賛同し2017年3月に「イクボス宣言」を行いました。



「プラチナくるみんマーク」の取得 (子育てサポート企業認定)

当社は、次世代育成支援対策推進法に基づき、子育てサポートについて高い水準で取り組む企業として、厚生労働大臣認定の「くるみん」及び「プラチナくるみん」認定を取得しています。

育児休業からの復職率 (2021年度)

性別	対象者	育児取得者	育児取得した人の復職率
	男性	9名	5名
女性	9名	9名	44%

※4名は特別休暇等で終了

※残5名は2022年度に復帰

従業員を対象としたテレワーク勤務

当社は、在宅勤務やモバイル勤務などのテレワーク勤務を定め、柔軟な働き方を支える制度の整備と利用しやすい職場風土づくりに努めています。



従業員との対話

上司との面談

半期に一度、上司と部下が面談する機会を設け、目標設定や人事考課のフィードバックなどを通して成長するチャンスを拡げられるように支援する機会を設けています。

労使対話

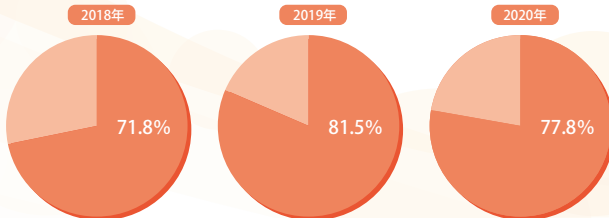
2005年に、労使共同による社業の発展と労働環境の維持・向上、従業員のゆとりある生活の実現を目指し、労働組合「UAゼンセンニラクユニオン」が結成されました。定期的に労使協議会、委員会等を開催し、労働環境や労働条件に関する従業員の意見も取り入れながら、課題解決に向けた活発な議論を行っています。



安全な労働環境

労働災害の防止と業務上疾病の予防を目指し、事業場規模ごとに総括安全衛生管理者(本部)、衛生管理者および産業医(従業員50名未満の事業場では安全衛生推進者)を設置し、安全衛生の実態や問題点の把握・改善に取り組んでいます。また、長時間労働に対する産業医からのチェック や、年次有給休暇取得の推進を通じて過重労働防止に努めています。

有給休暇取得率の推移



※2021年度有休取得率は2022年3月期に集計されます。

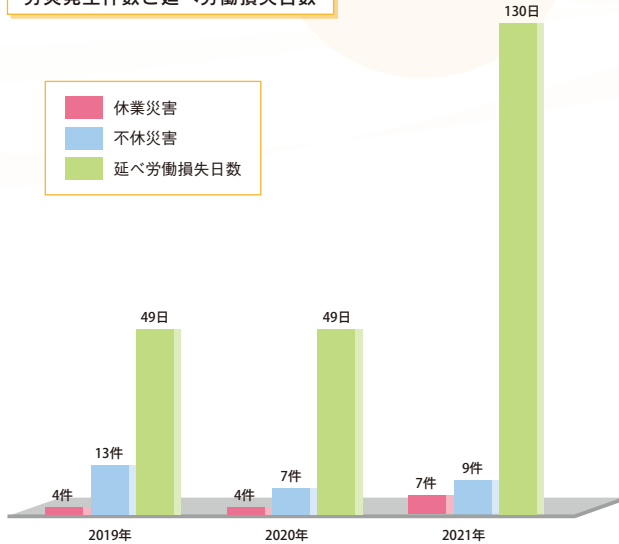
労働災害強度率*

2022年3月期

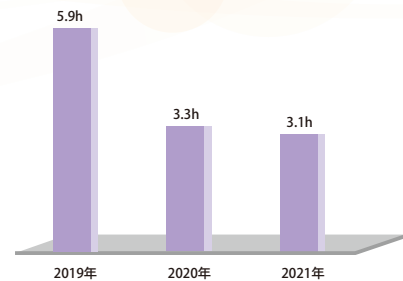
0.01%

※労働災害強度率は、1,000延労働時間当たりの労働損失日数で計算され、労働災害の重さを測る参考指標です。

労災発生件数と延べ労働損失日数



月平均時間外労働時間の推移



健康管理の取り組み

当社では、従業員の健康維持に向けて、健康診断の受診率の目標を設定し、受診率向上に向けた取り組みを順次拡充しています。

面談による従業員のメンタルヘルス状況のモニタリング

外部専門機関によるストレスチェックや、過重労働者への産業医面談実施等を通して、従業員のメンタルヘルス状況を定期的にモニタリングするとともに、就業実態・健康状態の把握に努めています。

EAP相談室

心と身体の健康相談窓口として、プライバシーに配慮したメンタルヘルスケアの対応を行う「EAP相談室」を設けています。



健康診断受診率 (過去3年)



二次検診受診率 (過去3年)



企業指針

Corporate guidelines

地域社会 Local Communities

コミュニティやお取引先様のために

- ・優れた倫理観を持った良き企業市民として、企業活動を通じて地域社会の発展に寄与していきます。
- ・地球に感謝し、企業活動で発生する環境負荷を減少させるとともに、個人の環境保全活動を可能な限り支援していきます。
- ・志を同じくする全てのお取引先様を尊重し、対等で適切な関係を築いていきます。

CSRの 基本的な考え方

私たちニラクは、「世の中を、明るく楽しく面白くすることによって人々に幸せな時間を創造する」という経営理念のもと、会社・店舗そして一人ひとりが良き企業市民として、社会全体および各地域社会との関係の中で、相互に持続可能な発展に貢献していきます。



アクティブ・ローカル・エンジン

私たちニラクは、店舗を中心に地域とどのように共生していくかという課題について、取り組んでいます。そのひとつの活動として、「アクティブ・ローカル・エンジン」があります。具体的には、店舗の商圏内の小さな「面白い」「楽しい」事を集め、地域の方々、ひいてはお客様と共通の話題を創出し、一緒に「面白い」「楽しい」事を共有していこうと考えています。さらに、従来から実施している地域貢献活動や慈善寄付活動なども、この統一したコンセプトの下に推進しています。

※アクティブ・ローカル・エンジン (Active Local Engine) とは、CSRの基本的な考え方のもとに、様々な活動を通して地域とのつながりを創っていただくという当社のCSR活動の総称です。

ACTIVE LOCAL ENGINE



慈善・ボランティア活動

郡山市・海老名市と災害等に関する協定を締結

近年のゲリラ豪雨や台風など大規模な自然災害における地域の被害状況から、地域への恩返しや、安心・安全な地域づくりの支援として、郡山市・海老名市のニラク10店舗で災害等に関する協定を締結しました。

福島県郡山市（9店舗）



ニラク郡山大町店



ニラク郡山大町店立体駐車場

協定内容

駐車場等の一時的な
車両避難場所としての提供



避難者に対しての水道水、
トイレ等の提供



避難者に対しての各種
災害情報等の提供



ニラク郡山大町店の大型ビジョンでは、災害情報の他にも様々な地域情報を発信しています。

神奈川県海老名市(1店舗)



ニラク海老名本郷店



ニラク海老名本郷店立体駐車場

協定内容

駐車場等の
一時的な車両避難場所
としての提供



城山ダムの緊急放流が予定され、相模川の氾濫が予想される場合に、海老名市からの要請に応じて、ニラク海老名本郷店の立体駐車場(2F～屋上までの車両452台)を提供します。

福島県教育委員会に鉛筆を寄付

ニラク福島太平寺店では、店舗のお客様のご厚意によって集められた鉛筆を小学校教育に役立ててもらおうと、福島県教育委員会を通じて福島県内の小学校に届けています。現在までに合計56,957本(2,278,280円相当)の鉛筆を届けています。



地域の子どもたちへお菓子を寄贈

ニラクの店舗では、お客様からお預かりした端玉のお菓子や鉛筆を集め、地域でのイベントや、児童施設、福祉施設、小学校、保育園などに寄贈しています。



寄付付き景品の寄付

ニラク全店で人気PB景品の収益の1%を「ふくしま被害者支援センター」に寄付しています。2017年4月1日から2022年3月31日までの間で、372,185円を寄付しています。



遊技台の寄贈

店舗で使わなくなったパチンコ台やスロット台を希望される店舗周辺の高齢者福祉施設、老人ホーム、介護施設等に寄贈しています。遊技を実際に体験された方からは「脳のリハビリや指の運動になる」と好評の声を頂いています。



医療従事者への寄付

依然として、ウイルス感染拡大への不安が続く中、医療の最前線で治療や感染予防にあたられている医療従事者の皆様への感謝の意を表すとともに、地域のまちづくり企業として2021年2月、郡山市に200万円を寄付しました。



“さをり織”のマスクを寄贈

コロナ禍における、開幕シーズン中の感染対策の呼びかけに役立ててもらうため、福島ファイヤーボンズのマスコットキャラクター「ボンズ君」に、“さをり織”を施したマスクを寄贈しました。



制作：NPO法人 市民活動センター
ふぁみりかん あすなろ

被災地復興支援ボランティア活動

2011年3月11日の東日本大震災以降、一般財団法人 日本遊技関連事業協会 東北支部が主催する「みどりのきずな 再生プロジェクト」に参加しています。この取り組みは、林野庁が推進する、東日本大震災で被災した海岸防風林の再生を行う活動で、毎年、宮城県仙台市若林区荒浜一本杉付近で行われています。





社会貢献活動

須賀川市釈迦堂川花火大会での運営協力



毎年8月に福島県須賀川市で開催されている「須賀川市釈迦堂川花火大会」では、ニラク須賀川店の敷地全てを無料開放し、24時間チャリティ募金活動や屋台出店収益の寄付、敷地内でのイベントの主催・運営などを行い、地域の方々と積極的な交流を図っています。

ビッグツリーページェント・フェスタ IN KORIYAMAに向けてワークショップを開催

郡山商工会議所が主催する「ビッグツリーページェント・フェスタ IN KORIYAMA」のイベントに合わせ、自治会および地域の専門学校や企業の協力のもと、「郡山に灯りをともそう。イルミネーション」と題したワークショップを開催しています。

ワークショップでは、地域の子供達、学生などが「楽しい時・嬉しい時」をテーマにそれぞれの思いを描いたランプシェードを集め、郡山駅東口に装飾しています。



駐車場空きスペースで地域のキッチンカーを誘致

昨今のコロナ禍で経営が厳しくなっている県内の飲食店を応援するとともに、お客様へのサービス充実を図るため、市内のニラク2店舗の駐車場を無償で貸し出し、キッチンカーを誘致する取り組みを行っています。これまで多くの飲食店やキッチンカーが出店し、手軽に食べられる焼き鳥やたこ焼きをはじめ、お弁当などの販売もを行っています。



産学連携事業として、学生に実践授業の機会を創出



コロナ禍で学びの機会が制限されている学生に、実践授業の機会を創出するため、国際アート&デザイン大学校の学生に当社の企業イメージCM制作を依頼し、講師を招いて授業やプレゼン発表会などを開催しました。

依存(のめり込み)問題対策の無料セミナーを開催

当社は、ギャンブル等依存(のめり込み)問題への対策をホール企業の社会的責任(CSR)と考えており、基本方針である「責任ある遊技」を掲げて積極的に取り組んでいます。基本方針である柱「①従業員の教育、②予防の促進、③セーフティネットの整備、④地域社会との共生」の4つを軸に、過度な依存の予防と拡大防止を目指して対策に取り組んでいます。

大学生に勉強会を開催

福島大学から依頼を受け、学生が取り組むテーマに合わせて、ギャンブル依存の現状や地域貢献に関心を持つ学生に、パチンコ業界での依存(のめり込み)問題対策やニラクの地域貢献について、勉強会を開催しました。

第1回「依存対策啓発セミナー ～パチンコ依存を知り、依存対策について考える～」

ギャンブル等依存症対策基本法を受け、啓発期間である2019年5月15日(水)に、依存問題に関わる方や関心のある方々49名を対象に開催しました。

第2回「ぱちんこ依存対策勉強会in郡山」

2019年11月8日(金)に、ぱちんこ関係者と地域支援に携わる方々約80名を対象に開催しました。



スポーツ振興支援 (B-Leagueチームスポンサー契約)



当社は、2011年3月11日の東日本大震災以降、次世代を担う子ども達を願い設立された地元プロバスケットボールチーム「福島ファイヤーボンズ」の理念に共感し、子ども達や地域に夢と希望を与えられるバスケットボールの発展を応援するため、オフィシャルゴールドパートナー契約を締結しました。ホーム戦での毎試合では、障がいをお持ちの方や車椅子の方が観戦できるニラクシートに無料で30名を招待しています。

福島ファイヤーボンズ[B.LEAGUE]

チーム名「ファイヤーボンズ」は、燃え上がる闘志「ファイヤー」と、「絆」「結束」を意味する英単語「Bonds」「ボンズ」に由来する。





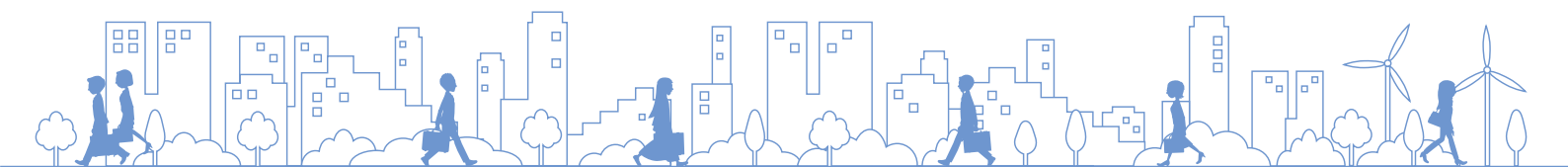
ガバナンス

Governance



コンプライアンス Compliance

リスクマネジメント Risk management





コンプライアンスの考え方

当社グループは、独自に定めた倫理憲章において、企業の社会的責任とは何か、「倫理的・法的に公正な経営を通じて世の中に新たな価値を生み出すことである」と宣言しています。各種法令や社会規範の遵守は当然のこと、高い倫理観と道徳観の発露を通じてお客様や社会から信用と信頼を得ることで、企業の社会的責任を果たし、社会発展に貢献していくことに継続的に取り組んでいます。

風適法遵守体制

当社グループは、「倫理憲章」「行動指針」に基づく各種規定や法改正、環境変化に合わせたオペレーションマニュアルなどの改訂、運用の他、一人ひとりがコンプライアンスを意識した適切な行動をとるために、様々な取り組みを実践しています。特にパチンコホール運営において最も重要な法律の一つである「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(風適法)」を遵守するため、株式会社ニラクでは、店舗とビジネスセンターにおいて、二重のチェック体制を構築しています。店舗では、法律要件に即したチェックを月1回の頻度で実施し、営業部・内部監査へ報告をしています。さらにバックアップ体制として、ビジネスセンター専門チームによる全店舗の監査を2か月に1回の頻度で実施し、内部監査への報告を行っています。



店舗とビジネスセンターで二重のチェック体制を構築

- 1 店舗で月1回のチェック実施
- 2 バックアップ体制として、ビジネスセンター専門チームによる全店舗の監査を2か月に1回の頻度で実施

内部監査への報告

汚職防止

当社は、行動指針において、会社の立場を利用した贈収賄や過度な接待、不公正または個人的な取引、反社会的勢力との取引等を禁止しており、これらの教育を履修できるトレーニングプログラムを設けております。

不正防止(関連資格の取得)

株式会社ニラクが運営するパチンコホールにおいて、内部・外部を問わず、遊技機に不正な改造を施す等の法律違反を防止するため、全ての店舗管理者が遊技機取り扱い主任者(一般財団法人 日本遊技関連事業協会)の資格を有し、設置されている遊技機の管理責任者として規定に即した対応を行っています。店舗管理者には、3か月に1回以上の頻度で全遊技台の検査を義務付けるほか、常時、業界内外の不正に関する最新情報を収集し、具体的な対策へと活かしています。



全ての店舗管理者が遊技機取り扱い主任者の資格を取得
(一般財団法人 日本遊技関連事業協会)

3か月に1回以上の頻度で全遊技台の検査を義務付け

業界内外の不正に関する最新情報を収集

知的財産権の保護

社内規程を整備し、知的財産権を適切に管理するとともに第三者の知的財産権を侵害することのないよう努めております。特に実務において触れることの多い「商標権」と「著作権」については、別途ガイドラインを設け、取り扱い上の留意点を従業員へ周知しております。

個人情報の保護

「個人情報の保護に関する法律」およびその関連法案に基づく社内規程を整備し、個人情報の取り扱いが適切になされるよう努めています。



リスクマネジメントの考え方

当社グループはステークホルダーに対して様々なリスクが与える影響を除去・軽減に努めるという方針を明示しています。また、危機管理の取り組みにおいて対象とする危機の類型に分類し、それぞれの危機管理の実践を通じて、事業の継続ならびに安定的な発展の確保を目指す取り組みを実践しています。

危機管理委員会の設置

当社グループは、事業の継続的及び安定的発展を目指し、かつそれらをより確実なものにするべく危機管理委員会を定期的で開催しています。当該委員会においては、災害・事故・犯罪・情報セキュリティやその他の重要なリスクの評価及び対応策の決定を行う一方、当該委員会の下部組織であるリスク管理部会を通じた継続的なモニターや社内啓蒙活動を実施することで、その有効性を担保しています。



クライシスマネジメント

さまざまなリスクによって発生するクライシスに対して、危機管理基本規定にもとづく迅速かつ適切な対応と情報公開を行い、事業および社会に及ぼす影響の最小化を図る体制を構築しています。また、クライシスマネジメントにおいては、記録を残すとともに、適切な再発防止策を審議、策定しています。



BCP(事業継続計画)への取り組み

株式会社ニラクでは、大規模な自然災害など、予期せぬ危機的状況が発生しても事業資産の損害を最小限にとどめ、迅速な事業復旧を実現するためのBCP(事業継続計画)を2017年に策定しました。ニラクは、危機管理委員会の主導のもとで、BCP(事業継続計画)を定期的に見直し、マニュアルの整備や教育訓練を実施することで、災害リスクの軽減に努めています。また、2021年から2022年にかけて地震などの自然災害に見舞われましたが、BCP(事業継続計画)の運用により、速やかな営業の再開を可能にしました。



アンチマネーロンダリング(AML)

当社グループの主な事業であるパチンコホール運営におけるアンチマネーロンダリング(AML)リスクの発見と低減を促進させるための管理を行っています。また、全ての取締役を含む幹部以上社員から三店方式の独立性を担保する誓約書を毎年入手しております。なお、AMLに関する全ての事象は、危機管理委員会を所管する事務局へ集約され、検査・調査・点検を行い、当社のリスク担当執行役(CRMO)および監査委員会に報告されています。

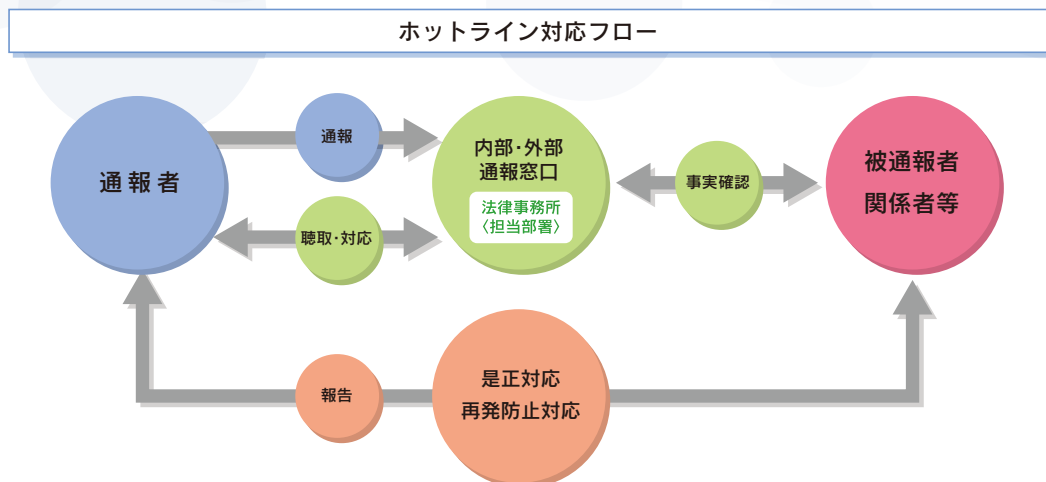
※具体的な取組内容は、AMLポリシー(www.ngch.co.jp/jp/csr/)をご参照ください。



内部・外部通報制度

当社グループは、法令や倫理憲章に反する行為に直面した場合のグループ共通窓口として、従業員全員が利用できる内部通報システム「ホットライン」を設置しています。対応においては、匿名性を確保し、通報者保護のルールを徹底しています。

外部通報窓口では、社外コンサルタント担当(弁護士事務所)が受付をし、通報内容を担当取締役等に伝達、是正や処分までのモニタリングを実施しています。内部通報窓口ではハラスメントや不正行為等の通報制度として、外部弁護士事務所へ窓口業務を委託し、コンプライアンスの強化を図っています。



当社グループでは、内外の通報窓口を設置し、全てのステークホルダーからご意見を受け入れる体制を整えています。

お客様の声窓口

お客様の声窓口を設け、メール、お電話でお問い合わせを受け付けております。メール受信した全てのお客様の声は、直接営業部へも共有され必要な対応が取られる仕組みとなっております。またメールおよび電話にて受け付けた全てのお客様の声は総務法務課に集約されています。その内容が精査された後、月次の報告資料として営業部会議で共有され、お客様の声を反映するフローとなっています。2022年3月期のお客様の声は、コロナ後の営業日数の増加もあいまって前年比53件増の635件となっています。

事業活動における透明性の確保

当社グループは、倫理憲章をはじめとした就業規則・稟議規程・取引先規程・接待交際細則など、様々な規定を設け、全ての取引において従業員による恣意的な判断を排除し、不正な汚職の防止に繋げています。また、取引先選定委員会では、新規に取引を開始しようとする法人および個人に対し、社内規程で定めた必要書類をもとに、コンプライアンスや与信管理上の審査を行うことに加えて、コミュニケーションの取りやすさ等の定性評価も加味し取引開始の可否を判断しています。また、今後は定性評価において、環境や社会に関連した要素を加えることも検討してまいります。既に取引を行っている法人および個人に対しては、3年で一回転するように年1回のスクリーニングを実施し、取引継続の審査を行っています。なお、2022年3月期の取引先社数は83社です。



報告ガイドライン対照表

Reporting guideline comparison table

香港証券取引所上場規則

Environmental, Social and Governance Reporting Guide

主要項目	定性情報 / 指標		掲載ページ	
A. 環境 (Environment)				
A1: 排出物	定性情報	定性情報	大気への排出物、温室効果ガスの排出、水中及び陸上への排出物、有害あるいは無害の廃棄物に関連する方針	7-9
			発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	7
	指標	KPI A1.1	排出物のタイプ、及びそれぞれの排出物に関するデータ	9
		KPI A1.2	直接的（スコープ1）及び間接的（スコープ2）な温室効果ガスの排出量、また必要に応じて、排出原単位	9
		KPI A1.3	有害廃棄物の総発生量、また必要に応じて、原単位	Note 1
		KPI A1.4	無害廃棄物の総発生量、また必要に応じて、原単位	Note 1
		KPI A1.5	排出目標及びその達成のためのステップについての記述	2、7-9
KPI A1.6	有害あるいは無害廃棄物の取り扱い方、削減目標及びその達成のためのステップについての記述	Note 1		
A2: 資源の消費量	定性情報	定性情報	エネルギー、水、及びその他の原料を含む資源の有効活用のための方針	7-9
	指標	KPI A2.1	タイプ別の直接的および/または間接的エネルギー消費総量及び原単位	8
		KPI A2.2	水の総消費量、及び原単位	Note 2
		KPI A2.3	エネルギーの利用効率目標及びその達成のためのステップについての記述	8
		KPI A2.4	用途にあった水の調達に関して課題があるかどうか、また、水効率目標及びその達成のためのステップについての記述	Note 2
KPI A2.5	完成品に使用される梱包材の総量、及び、該当する場合は各々の生産単位に紐づけた記述	Note 3		
A3: 環境及び天然資源	定性情報	定性情報	環境や天然資源に対して発行者が与える重大な影響を最小化するための方針	7-9
	指標	KPI A3.1	環境や天然資源に重大な影響を与える活動、また、それらを管理するための方策についての記述	7-9
A4: 気候変動	定性情報	定性情報	影響を及ぼしている重要な気候関連問題、及び発行者に影響を及ぼす可能性のある問題を特定し、緩和するための措置に関する方針	7-9
	指標	KPI A4.1	影響を及ぼした重要な気候関連問題、及び発行者に影響を及ぼす可能性のある問題、及びそれらを管理するために講じた措置の記述	7-9
B. 社会 (Social)				
B1: 雇用	定性情報	定性情報	報酬と解雇、新規採用と昇進、労働時間、休憩時間、機会均等、ダイバーシティ、反差別、及びその他の福利厚生に関連する方針	14-19
			発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	14-19
	指標	KPI B1.1	男女別、雇用形態別、年齢層別、及び地区別の従業員数	16
KPI B1.2		男女別、年齢層、および地区別の従業員離職率	16	
B2: 健康及び安全	定性情報	定性情報	安全な労働環境の提供、及び業務上の危険からの従業員の保護に関連する方針	19
			発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	14
	指標	KPI B2.1	業務上の死亡者数及び割合	NULL
		KPI B2.2	労災による損失日数	19
KPI B2.3	採用している労働安全衛生に関する施策、またそれらの施策がどのように実施、モニターされているかについての記述	19		

報告ガイドライン対照表

Reporting guideline comparison table

主要項目	定性情報／指標		掲載ページ	
B3: 教育研修	定性情報	定性情報	従業員の職務遂行のための知識やスキルを向上させるための方針 研修活動についての記述	15
	指標	KPI B3.1	男女別、従業員カテゴリー別の、研修を受けた従業員のパーセンテージ	15
		KPI B3.2	男女別、従業員カテゴリー別の、従業員一人あたりの研修時間	15
B4: 労働関連法規	定性情報	定性情報	児童・強制労働の防止に関連する方針	Note 4
		定性情報	発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	Note 4
	指標	KPI B4.1	児童労働及び強制労働を防ぐために雇用慣行をレビューする方針についての記述	Note 4
		KPI B4.2	発覚した場合、そのような雇用慣行を排除するために取る措置についての記述	Note 4
B5: サプライチェーン マネージメント	定性情報	定性情報	サプライチェーンの環境・社会リスクを管理するための方針	28
	指標	KPI B5.1	地区別のサプライヤーの数	28
		KPI B5.2	サプライヤー採用に関する施策、及びその施策が実施されているサプライヤーの数	28
		KPI B5.3	サプライチェーンに沿った環境および社会的リスクの特定に使用される施策及びそれらの施策がどのように実施、モニタリングされているかについての記述	28
		KPI B5.4	サプライヤー選択の際に、環境的に配慮した製品・サービスを推奨するために用いた慣行およびそれらがどのように実施、モニタリングされているかについての記述	28
B6: 製造物責任	定性情報	定性情報	提供される製品・サービスについての安全・衛生、広告、ラベリングとプライバシーの問題、及び補償方法に関連する方針	26-28
		定性情報	発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	26-28
	指標	KPI B6.1	安全面・衛生面の事由によるリコールを想定している販売済・出荷済の総製品の割合	Note 5
		KPI B6.2	クレームを受けた製品及びサービスの数、また、どのように対処したか	28
		KPI B6.3	知的財産権の遵守と保護に関連する施策についての記述	26
		KPI B6.4	品質保証のプロセス及びリコール手続についての記述	Note 5
		KPI B6.5	顧客情報の保護及びプライバシー・ポリシー	26
B7: 腐敗防止	定性情報	定性情報	収賄、強要行為、詐欺、及びマネーロンダリングに関連する方針	26-28
		定性情報	発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	26-28
	指標	KPI B7.1	報告期間において発行者あるいは発行者の従業員に対して提起された汚職事件につき結審した訴訟事件の数、及びその判決	NULL
		KPI B7.2	受領した苦情に関連する製品・サービスの数、また、どのように対処したか	28
		KPI B7.3	取締役と従業員に対して行われる反汚職研修についての記述	26、28
B8: 地域社会への投資	定性情報	定性情報	発行者が事業を行う地域におけるコミュニティのニーズを理解し、コミュニティの利益を考慮したうえでの事業活動を確保するための、コミュニティ参画に関する方針。	20-24
	指標	KPI B8.1	貢献を重点的に行う分野	20-24
		KPI B8.2	重点分野に寄与した資源	21-24

注 記
 Note 1 当社グループの事業活動において、重要性のある有害・無害廃棄物の排出はありません。
 Note 2 当社グループの事業活動において、重要性のある水の消費はありません。
 Note 3 当社グループの事業活動において、重要性のある包材の使用はありません。
 Note 4 当社グループは、強制労働や児童労働等の非人道的扱いや地球環境の汚染防止等、国際規範や国際イニシアティブ等の社会的要請を十分に認識しており、事業活動を行う国や地域で適用される法令や社会規範を遵守しています。
 日本国内の取引先を含め、企業倫理に反する事例はありません。
 Note 5 当社グループは、製造メーカーではないため、該当する事例はありません。

フィードバックのお願い

Request for feedback

当社グループのESGレポートをご覧いただきありがとうございます。

当社グループのESGへの取り組み、およびESGレポートの内容をより一層充実させるために、当レポートに関してご意見・ご感想をお聞かせ頂けると幸いです。ご意見、ご感想をお聞かせいただける方は、下記フォームにご記入の上、メール、ファックス、郵送のいずれかの形式でお送りください。なお、戴いた回答は上記目的のみに利用し、個人情報等は第三者に対して提供致しません。今後とも、当グループは「明るく楽しく面白く」という経営理念の下に、皆様に幸せな時間を提供してまいります。

Q1 どのようなお立場から本レポートをご覧になりましたか？

- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> お客様 | <input type="checkbox"/> 株主・投資家 | <input type="checkbox"/> 地域住民 | <input type="checkbox"/> 従業員 |
| <input type="checkbox"/> 業界団体 | <input type="checkbox"/> 取引先 | <input type="checkbox"/> 同業他社 | <input type="checkbox"/> 報道機関 |
| <input type="checkbox"/> 政府・監督当局 | <input type="checkbox"/> 学術・調査機関 | <input type="checkbox"/> その他（ | ） |

Q2 本レポートの総合的な評価についてお聞かせください。

- 1.非常に満足 2.満足 3.どちらでもない 4.不満足 5.非常に不満足

Q3 本レポートの読みやすさに関する以下の点について、評価をお聞かせください。

1 レポートの構成	1.良い	2.どちらでもない	3.悪い
2 デザイン、レイアウト	1.良い	2.どちらでもない	3.悪い
3 レポートの分量	1.良い	2.どちらでもない	3.悪い

Q4 本レポートについて、最も興味を持ったトピックについてお聞かせください。

Q5 来期以降、本レポートに記載する必要のあるトピックについてお聞かせください。

Q6 その他、本レポートに対するご意見等ございましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました。下記送付先までお送りください。

送付先

メー ル/niraku@sprg.com.hk
ファックス/024-992-2221
郵 送/〒963-8811 福島県郡山市方八町2-1-24

ESG REPORT 2022



NIRAKU GC HOLDINGS, INC.

